

2023年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2年探究B・ピーススタディ

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「平和」の定義について、状況に合わせて可変的に語ることができる 「平和」に関わる社会的課題について、自分の言葉で語ることができる 「平和」に関わるフィールドスタディを通じて、課題に取り組む現場の人たちや一次資料から生の情報を収集することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「平和」に関わる社会的課題について調べ、その解決方法を提案することができる 「平和」に関わる様々な価値観や見方を比較検討することができる 「平和」に関わる社会的課題について調べ、そこから得た知識や考察した自分の意見を他者に伝えることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世の中の平和実現のために自分が必要な知識や力を身につける意欲を高めることができる 自分が関わる社会がより平和なものになるように、自分に何ができるかを考察し、実際に行動を起こす一歩を踏む姿勢を持つことができる（人間性） 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①様々な方法を用い、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題を見つけ出すことができるようになる。 ②自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、フィールドワークを含む様々な手段を用いて知識・理解を深めることができるようになる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、他者のそれと比較検討することができるようになる。 ②自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題についての解決策にむけた具体的なアクションを企画・立案することができる。 ③上記を踏まえて、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、効果的にプレゼンテーションができるようになる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、具体的なアクションを伴い、他者へ伝えたいという情熱を持つようになる 	

授業日	4/25(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①【思考力・判断力・表現力】①③【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ① 他者や識者の意見と比較して、自分の「平和の定義」を振り返り、深化させる ② KJ法を経験し、その方法を理解する ③ まなボードを用いたグループでの意見構築とグループ発表を経験し、その方法を理解する ④ 学びの記録を書く事に慣れる		
時間 授業内容	5 10 15 20-60 60-70 70-80 80-90	アイスブレイク 関西学院大学総合政策学部の清水康子教授による「平和」の定義を読み、自身の定義と比較した結果をペアワークでシェアする。 ここまでの「自分の平和の定義」を振り返り、学びの記録へ記録する 「身近にある平和な状態」と「身近にある平和ではない状態」について KJ法を用いて 3 人のグループで整理し、グループ間でシェアする。 グループ内の発表を踏まえて、KJ法で出たものを、学びの記録に文章化する それぞれの学びを元に、改めてグループ内でのテーマに順位付けを行う 来週のフィールドスタディに向けた解説と説明	
評価方法	① KJ法で整理したことのロイロノートへの提出 ② 学びの記録のルーブリックによる評価		
宿題指示	① 本日の授業中に書いた「学びの記録」を再考の上、Teams 上で提出する ② 「若者の貧困」に関する WEB 記事等を読み、「学びの記録」を作成して、Teams 上で提出する。 ③ フィールドスタディに向けた、「観点と問いシート」を作成して、Teams 上で提出する。		